伊賀市教育研究センター
令和６年７月８日　第４４１号

研修ニュース

〒518-0814　三重県伊賀市上友生 785 番地
TEL&FAX：0595（21）8839　E-Mail：iga-ken@iga.ed.jp

研修講座　B-１　特別支援教育【４回連続講座】②を実施しました！

「通常の学級における特別支援教育」
【講師】　元東京都日野市教育委員会　特別支援教育総合コーディネーター
宮崎　芳子先生

６月２８日（金）に、研修講座「特別支援教育【４回連続講座】②」を実施しました。講師として、元東京都日野市教育委員会　特別支援教育総合コーディネーターの宮崎芳子先生をお迎えし、「通常の学級における特別支援教育」と題し、ご講義いただきました。

はじめに、教室で気になる子どもは、本人が一番困っている子として捉える必要があり、本人のやりづらさは、環境とのミスマッチであるという話がありました。この話から、指導者が環境（状況）を整えて、困ることを減らしていくことで子どもたちにとって過ごしやすい環境につながると思いました。

次に、コーディネーターとして大切にしたいことをご指導いただきました。コーディネーターの役割として、校内委員会が組織として機能するように取り組むことや相談しやすい職員室づくりなど学校環境を整えることが大切であることを学びました。

後半は、特別支援教育の視点で授業を工夫することについてご指導いただきました。特に聞く時間を減らし、考える時間を増やすために目標の焦点化を図ること、子どもの心が動くしかけ（隠す、選択肢を与えるなど）を意図的に取り入れること、動作化による見える化（視覚化）することなど通常学級における工夫について学ぶことができました。

本講座で学んだことを各校で還流いただくとともに明日からの指導に活かしていただきますよう宜しくお願いします。

アンケートより【一部抜粋】

・「『わかる』『楽しい』授業が、何といっても救われる」という言葉が強く心に残りました。子どもたちは、ねらいを下げて、満足するものではないことを感じます。考えたり、やってみてできたことで得られたことに満足することを感じます。そのハードルやステップがうまくふめるように工夫することがUD化であり、授業づくりだと思いました。（小）

・それぞれの子どもに合った支援の方法を工夫していくことが大切だと痛感しました。そして、コーディネーターとしての役割についてもグループで話し合うことができ、有意義な時間となりました。各校に１人であるがゆえの悩みなどを話せることは大切だと思いました。（中）